



消防年報

令和 2 年版



水槽付消防ポンプ自動車（I-B型）（令和2年11月 奥伊勢消防署配備）

紀勢地区広域消防組合 消防本部

消防年報の目次

- 紀勢地区広域消防組合のあゆみ 1
- 紀勢地区広域消防組合の記録 8
- 消防現勢
 - 消防の管轄 1 1
 - 消防の組織 1 2
 - 消防庁舎 1 3
 - 高機能消防指令システム 1 4
 - 消防救急デジタル無線 1 4
 - 消防車両等 1 5
 - 消防の予算 1 7
- 消防統計
 - 令和 2 年中の主な行事 1 8
 - 職員の研修 1 9
 - 火災の統計 2 0
 - 救急・救助の統計 2 1
 - 防火対象物 2 2
 - 危険物施設 2 3
 - 届出書類等の受理 2 4

この消防年報は、紀勢地区広域消防組合の令和 2 年及び令和 2 年度中における諸般の現状と諸統計を収録し紹介するとともに、今後の消防防災行政の参考資料に供する目的をもって編集しました。

消防関係者はもとより、あらゆる方面で広く御活用いただければ幸いに存じます。

令和 3 年 6 月

紀勢地区広域消防組合 消防本部

紀勢地区広域 消防組合のあゆみ

紀勢地区広域消防組合のあゆみ

年 度	月	記 事
昭和 4 6 年度	1 1 月	地区の発展と構成町村の一体的進行を推進することを目的に、恵まれた自然に根ざした豊かな定住圏域を目指して、居住環境の整備を中心とした圏域づくりを進めるため紀勢地区広域市町村圏協議会（大台町、宮川村、大宮町、紀勢町、大内山村）が設立され、防災面として常備消防体制の確立を検討されたが、設置の具体化に至らず。
平成 3 年度		地元消防団で消防業務を行っていたが、団員の多くが町村外の会社等へ勤務しており、昼間の火災出動等の団員確保が困難となり、消防業務に支障をきたすようになったことから、再度、常備消防について検討するため、圏域外の 1 町（南島町）を加えて紀勢地区広域市町村圏協議会内に消防常備化検討委員会（町村総務課長で構成）を設置する。
平成 4 年度		常備消防の具体化に向け、他県及び県内の消防本部視察等を実施する。
平成 5 年度	6 月	関係町村の町村長会議において協議結果を報告する。
	2 月	関係 6 町村（大台町、宮川村、南島町、大宮町、紀勢町、大内山村）が広域消防組合設立に合意し、組合規約の設定、組合の名称を「紀勢地区広域消防組合」とし、消防本部を大台町に、分署は紀勢町と南島町に、出張所は宮川村に設置し、「1 本部、1 署、2 分署、1 出張所」体制とすることで全員異議なくこれを承認する。
平成 6 年度	4 月	三重県知事に紀勢地区広域消防組合設立許可申請を提出する。
	6 月	三重県知事の設定許可を受ける。(平成 6 年 6 月 6 日許可)
	1 1 月	第 1 回組合議会開催 管 理 者 千原 淳 氏 副管理者 谷口友見 氏 副管理者 小西光三 氏 収 入 役 上野征治 氏
平成 7 年度	4 月	紀勢地区広域市町村圏協議会から独立し「紀勢地区広域消防組合」として、仮庁舎（多気郡大台町弥起井 3 2 0 番地の 3）において事務を開始する。 事務局長 久保義一 氏 着任 消防職員 1 2 名 採用
	7 月	消防職員 1 名 採用（消防経験者）(計 1 3 名) 初代消防長 藤原壽一 氏 着任
	1 0 月	自治省消防庁の政令指定都市希望ヒヤリングを受ける。 (平成 7 年 1 0 月 2 5 日)
	1 2 月	消防職員 1 名 採用（消防経験者）(計 1 4 名) 他消防本部に消防職員 4 名を研修派遣する。(1 2 日間)
	1 月	仮庁舎、南島町及び紀勢町役場で、平日夜間、土日、祝祭日及び年末年始に救急業務のみ業務を実施する。

平成 8 年度	4 月	当組合構成 6 町村が政令指定を受ける。(平成 8 年 4 月 2 日) 消防職員 4 2 名 採用 (消防経験者 4 名含む) (計 5 6 名) 仮庁舎を奥伊勢消防署とする。 仮庁舎の奥伊勢消防署に次のとおり車両を配備する。 消防ポンプ自動車 (C D - 1) 1 台 水槽付き消防ポンプ自動車 (水 1 - A) 1 台 救急自動車 (2 B) 1 台 生活協同組合全日本消防人共済会から指令車 1 台を寄贈 (消防本部に配備)
	6 月	日本消防協会から救急車 (2 B) 1 台の寄贈を受ける。
	1 1 月	紀勢分署庁舎竣工 (紀勢町崎 1 8 7 1 番地) 南島分署庁舎竣工 (南島町河内 2 7 番地 1) 宮川出張所庁舎竣工 (宮川村小滝 3 7 0 番地) 紀勢分署、南島分署及び宮川出張所に次のとおり車両を配備。 【紀勢分署】 消防ポンプ自動車 (C D - 1) 1 台 水槽付き消防ポンプ自動車 (水 1 - A) 1 台 救急自動車 (2 B) 1 台 広報車 1 台 【南島分署】 消防ポンプ自動車 (C D - 1) 1 台 水槽付き消防ポンプ自動車 (水 1 - A) 1 台 救急自動車 (2 B) 1 台 広報車 1 台 【宮川出張所】 水槽付き消防ポンプ自動車 (水 1 - A) 1 台 救急自動車 (2 B) 1 台 広報兼小型ポンプ積載車 1 台
	1 2 月	職員 6 0 名 (消防職員 5 6 名、その他の職員 4 名) で、消防本部、奥伊勢消防署、紀勢分署、南島分署及び宮川出張所にて本格業務を開始する。(平成 8 年 1 2 月 1 日)
	2 月	消防本部・奥伊勢消防署庁舎竣工 (大台町佐原 7 5 4 番地)
	3 月	三重県共済農業協同組合連合会から救急車 (2 B) 1 台を寄贈 (奥伊勢消防署に配備)
平成 9 年度	4 月	消防職員 1 5 名 採用 (計 7 1 名)
	1 月	消防職員 1 名 退職 (計 7 0 名)
	3 月	事務局長 久保義一 氏 退任
平成 1 0 年度	4 月	消防職員 1 名 採用 (計 7 1 名) 大台町派遣職員 1 名着任
	8 月	紀勢地区防火協会が設立する。
	1 2 月	消防職員 1 名 退職 (計 7 0 名)
	3 月	日本損害保険協会から高規格救急車 1 台を寄贈 (奥伊勢消防署に配備)

平成11年度	4月	収 入 役 上野征治 氏 退任 森本利樹 氏 着任 副管理者 小西光三 氏 退任 上野征治 氏 着任 消防職員 1名 採用 (計71名)
	5月	救急救命士資格取得 1名 (資格取得者 計1名) 救急救命士業務を開始する。
平成12年度	4月	消防職員 1名 採用 (計72名)
	5月	救急救命士資格取得 1名 (資格取得者 計2名)
	2月	消防職員 1名 退職 (計71名)
	3月	初代消防長 藤原 壽一 氏 退任 消防職員 1名 退職 (計70名) 大台町派遣職員 1名 退任
平成13年度	4月	第2代消防長 伊藤勇三郎 氏 着任 (大台町派遣職員) 大紀町派遣職員 1名 着任
	5月	救急救命士資格取得 1名 (資格取得者 計3名)
平成14年度	4月	消防職員 1名 採用 (計71名) 東海地震に係る地震防災対策強化地域に南島町、紀勢町の2町が 指定される。(平成14年4月24日指定)
	5月	救急救命士資格取得 1名 (資格取得者 計4名)
	10月	管 理 者 千原 淳 氏 退任 副管理者 上野征治 氏 退任 収 入 役 森本利樹 氏 退任
	12月	管 理 者 古家 孟 氏 着任 副管理者 谷口友見 氏 退任
	1月	消防職員 1名 退職 (計70名)
	3月	奥伊勢消防署 指揮支援車1台 配備 奥伊勢消防署 災害用エアーテント1基 配備
		副管理者 柏木廣文 氏 着任
平成15年度	4月	副管理者 森阪清太郎 氏 着任 収 入 役 中村建也 氏 着任 消防職員 5名 採用 (計75名) 消防職員 1名 退職 (計74名)
	5月	救急救命士資格取得 1名 (資格取得者 計5名)
	7月	南島分署 高規格救急自動車1台 配備
	8月	日本宝くじ協会から消火通報訓練指導車1台を寄贈 (奥伊勢消防 署に配備)
	12月	東南海・南海地震防災対策推進地域に管轄町村 (三重県全域) が 指定される。(平成15年12月17日指定)
	3月	第2代消防長 伊藤勇三郎 氏 退任
平成16年度	4月	第3代消防長 中道剛士 氏 着任 消防職員 5名 採用 (計79名)
	5月	救急救命士資格取得 1名 (資格取得者 計6名)
	9月	台風21号に伴う豪雨災害発生 (宮川村・紀勢町・大内山村) (平成16年9月29日)

	10月	副管理者 柏木廣文 氏 退任 救急救命士資格取得 1名 (資格取得者 計7名)
	12月	副管理者 柏木廣文 氏 再任
	2月	管内3町村(大宮町、紀勢町、大内山村)が合併し「大紀町」となり、引き続き当組合に加入する。(平成17年2月14日) 副管理者 柏木廣文 氏 退任
	3月	伊勢農業協同組合から寄附金(壱千万円)を受ける。
平成17年度	4月	消防職員 6名 採用(計85名)
	5月	副管理者 柏木廣文 氏 再任 救急救命士資格取得 1名 (資格取得者 計8名)
	7月	消防職員 1名 退職(計84名) 携帯電話からの119番通報が直接受信に切り替わる。
	10月	南島町と南勢町が合併し「南伊勢町」となり、引き続き旧南島町地域のみ当組合に加入する。(平成17年10月1日) 救急救命士資格取得 1名 (資格取得者 計9名)
	12月	消防職員 2名 退職(計82名)
	1月	大台町と宮川村が合併し「大台町」となり、引き続き当組合に加入する。(平成18年1月10日) 管理者 古家 孟 氏 退任 副管理者 森阪清太郎 氏 退任 収入役 中村建也 氏 退任 消防職員 1名 退職(計81名)
	3月	管理者 柏木廣文 氏 着任 副管理者 尾上武義 氏 着任 副管理者 西村太三郎 氏 着任 収入役 玉井保正 氏 着任 近畿自動車道尾鷲勢和線(紀勢自動車道:大宮大台IC)が開通する。(平成18年3月11日) 消防本部 支援車1台 配備 南島分署 災害用エアータント1基 配備 全職員 セパレート型防火衣 貸与 全署所 AED及びバックボード 配備
平成18年度	4月	救急救命士資格取得 1名 (資格取得者 計10名)
	6月	クールビズ実施
	3月	第3代消防長 中道剛士 氏 退任 消防職員 1名 退職(計80名)
平成19年度	4月	第4代消防長 北出幸一 氏 着任(大紀町派遣職員) 三重県防災航空隊派遣(任期3年) 1名
	3月	第4代消防長 北出幸一 氏 退任(大紀町派遣職員)
平成20年度	4月	第5代消防長 大滝幸久 氏 着任(大台町派遣職員) 大紀町派遣職員 1名 着任 南伊勢町派遣職員 1名 着任 救急救命士資格取得 1名 (資格取得者 計11名)
	1月	第5代消防長 大滝幸久 氏 退任

	2 月	近畿自動車道尾鷲多気線（紀勢自動車道：紀勢大内山 I C）が開通する。（平成 2 1 年 2 月 7 日） 管 理 者 柏木廣文 氏 退任 尾上武義 氏 着任 副管理者 尾上武義 氏 退任 稲葉輝喜 氏 着任 副管理者 西村太三郎 氏 退任 余谷道義 氏 着任 収 入 役 玉井保正 氏 退任 会計管理者 大瀬恭信 氏 着任 奥伊勢消防署 救助工作車 1 台 配備 紀勢分署 高規格救急自動車 1 台 配備
	3 月	会計管理者 大瀬恭信 氏 退任
平成 2 1 年度	4 月	会計管理者 上野拓治 氏 着任 第 6 代消防長 中田久壽陽 氏 着任（大台町派遣職員） 救急救命士資格取得 1 名（資格取得者 計 1 2 名）
	1 1 月	副管理者 稲葉輝喜 氏 退任
	1 2 月	副管理者 谷口友見 氏 着任 奥伊勢消防署 高規格救急自動車 配備（2 台目） （緊急消防援助隊設備整備費補助金）
	1 月	副管理者 余谷道義 氏 退任
	2 月	副管理者 小山 巧 氏 着任 管 理 者 尾上武義 氏 退任 尾上武義 氏 再任 会計管理者 上野拓治 氏 退任 上野拓治 氏 再任
	3 月	会計管理者 上野拓治 氏 退任 南伊勢町派遣職員 1 名 退任
平成 2 2 年度	4 月	会計管理者 高西立八 氏 着任 消防職員 4 名 採用（計 8 4 名） 消防職員 1 名 退職（計 8 3 名） 南伊勢町派遣職員 1 名 着任 救急救命士資格取得 1 名（資格取得者 計 1 3 名）
	6 月	消防職員 1 名 退職（計 8 2 名）
	1 0 月	宮川出張所 高規格救急自動車 1 台 配備
	3 月	緊急消防援助隊派遣（東日本大震災） （出動期間 3/11～3/21・延べ出動人員 1 1 名・出動車両 4 台）
平成 2 3 年度	4 月	消防職員 3 名 採用（計 8 5 名） 消防職員 1 名 退職（計 8 4 名） 救急救命士資格取得 1 名（資格取得者 計 1 4 名）
	3 月	第 6 代消防長 中田久壽陽 氏 退任 南伊勢町派遣職員 1 名 退任
平成 2 4 年度	4 月	第 7 代消防長 山川高弘 氏 着任 南伊勢町派遣職員 1 名 着任 消防職員 3 名 採用（計 8 7 名） 救急救命士資格取得 2 名（資格取得者 計 1 6 名） 山岳救助隊発足
	8 月	奥伊勢消防署 資機材搬送車 配備

	1 1 月	奥伊勢消防署 高規格救急自動車 1 台 更新 奥伊勢消防署 指揮支援車 1 台 更新
	3 月	会計管理者 高西立八 氏 退任 消防職員 1 名 退職 (計 8 6 名)
平成 2 5 年度	4 月	会計管理者 野呂泰道 氏 着任 消防職員 3 名 採用 (計 8 9 名) 救急救命士資格取得 2 名 (資格取得者 計 1 8 名)
	3 月	会計管理者 野呂泰道 氏 退任 第 7 代消防長 山川高弘 氏 退任 消防職員 3 名 退職 (計 8 6 名) 南伊勢町派遣職員 1 名 退任
平成 2 6 年度	4 月	会計管理者 山本晃史 氏 着任 第 8 代消防長 中西常夫 氏 着任 消防職員 3 名 採用 (うち 1 名、救命士資格取得者) (計 8 9 名) 三重県・市町職員人事交流派遣 (任期 2 年) 1 名 救急救命士資格取得 2 名 (資格取得者 計 2 1 名)
	3 月	新南島分署竣工 (庁舎移転: 南伊勢町村山 2 2 番地)
平成 2 7 年度	4 月	消防職員 2 名 採用 (計 9 1 名) 救急救命士資格取得 2 名 (資格取得者 計 2 3 名) 三重県消防学校教官派遣 (任期 3 年) 1 名
	9 月	消防救急デジタル無線及び高機能消防指令システム整備工事完了 (新通信室運用開始)
	1 1 月	消防本部・奥伊勢消防署庁舎改修工事完了
	2 月	奥伊勢消防署 広報車 1 台 更新
	3 月	会計管理者 山本晃史 氏 退任
平成 2 8 年度	4 月	会計管理者 千原隆司 氏 着任 救急救命士資格取得 2 名 (資格取得者 計 2 5 名)
	5 月	伊勢志摩サミット消防特別警戒部隊派遣 (派遣期間 5/24~5/29・延べ派遣人員 10 名・派遣車両 1 台)
	1 月	南島分署 高規格救急自動車 1 台 更新 (緊急消防援助隊設備整備費補助金)
	3 月	消防職員 3 名 退職 (計 8 8 名)
平成 2 9 年度	4 月	救急救命士資格取得 1 名 (資格取得者 計 2 6 名)
	1 月	奥伊勢消防署 消防ポンプ自動車 (C D - I 型) 1 台 更新 (緊急消防援助隊設備整備費補助金)
	2 月	管 理 者 尾上武義 氏 退任 谷口友見 氏 着任 副管理者 谷口友見 氏 退任 大森正信 氏 着任
	3 月	大紀町派遣職員 1 名 退任 消防職員 1 名 退職 (計 8 7 名)
平成 3 0 年度	4 月	消防職員 5 名 採用 (計 9 2 名) 救急救命士資格取得 1 名 (資格取得者 計 2 7 名)
	5 月	消防職員 1 名 退職 (計 9 1 名)
	6 月	消防職員 1 名 退職 (計 9 0 名)

	7 月	緊急消防援助隊派遣（平成 3 0 年 7 月豪雨） （出動期間 7/7・出動人員 5 名・出動車両 2 台）※途中引揚（活動なし）
	1 0 月	奥伊勢消防署 連絡車 1 台 配備
	1 2 月	紀勢分署 消防ポンプ自動車（C D-I 型）1 台 更新
	3 月	会計管理者 千原隆司 氏 退任 消防職員 2 名 退職（計 8 8 名）
平成 3 1 年度	4 月	管 理 者 谷口友見 氏 退任 大森正信 氏 着任 副管理者 大森正信 氏 退任 谷口友見 氏 着任 会計管理者 伊藤真史 氏 着任 三重県防災航空隊派遣（任期 3 年） 1 名 救急救命士資格取得 1 名（資格取得者 計 2 8 名）
令和元年度	9 月	南島分署 消防ポンプ自動車（C D-I 型）1 台 更新 宮川出張所庁舎改修工事完了
	1 2 月	消防職員 1 名 退職（計 8 7 名）
	3 月	第 8 代消防長 中西常夫 氏 退任 消防職員 3 名 退職（計 8 4 名）
令和 2 年度	4 月	第 9 代消防長 上岡則和 氏 着任 消防職員 5 名 採用（計 8 9 名） 救急救命士資格取得 1 名（資格取得者 計 2 9 名）
	1 1 月	奥伊勢署 水槽付消防ポンプ自動車（I -B 型）1 台 更新
	1 2 月	南島分署 広報車 1 台 更新
	3 月	副管理者 谷口友見 氏 退任 服部吉人 氏 着任 会計管理者 伊藤真史 氏 退任 消防職員 3 名 退職（計 8 6 名） （救急救命士資格取得者 計 2 8 名）
令和 3 年度	4 月	消防職員 3 名 採用（計 8 9 名） 会計管理者 辻徳人 氏 着任

紀勢地区広域 消防組合の記録

紀勢地区広域消防組合の記録（大会出場等）

【救助技術の部】

年 度	月	記 録 内 容
平成10年度	7月	第22回三重県消防救助技術指導会へ初出場する。 第27回東海地区救助指導会に5種目出場する。 （ロープ渡過・ロープ登はん・はしご登はん・ロープ応用登はん・ロープブリッジ救出）
平成11年度	7月	第23回三重県救助技術指導会に6種目出場する。 第28回東海地区救助指導会に3種目出場する。 （ロープブリッジ渡過・はしご登はん・ロープブリッジ救出）
平成12年度	7月	第24回三重県救助技術指導会に5種目出場する。 第29回東海地区救助指導会に3種目出場する。 （ロープブリッジ渡過の部で1名入賞を果たし、全国大会へ）
	8月	第29回全国消防救助技術大会（熊本）に出場する。 （ロープブリッジ渡過の部で1名入賞）
平成13年度	7月	第25回三重県救助技術指導会に3種目出場する。 第30回東海地区救助指導会に3種目出場する。 （ロープブリッジ渡過の部で2名入賞を果たし、全国大会へ）
	8月	第30回全国消防救助技術大会（東京）に出場する。 （ロープブリッジ渡過の部で2名入賞）
平成14年度	7月	第26回三重県消防救助技術指導会に3種目出場する。
	8月	第31回東海地区救助指導会に3種目出場する。 （ロープブリッジ渡過の部で1名入賞を果たし、全国大会へ） 第31回全国消防救助技術大会（名古屋）に出場する。 （ロープブリッジ渡過の部で1名入賞）
平成15年度	7月	第27回三重県消防救助技術指導会に出場する。
	8月	第32回東海地区救助指導会に出場する。 （ロープブリッジ渡過の部で2名入賞、ロープ登はんの部で1名入賞を果たし、全国大会へ） 第32回全国消防救助技術大会（仙台）に出場する。 （ロープブリッジ渡過の部で2名、ロープ登はんの部で1名入賞）
平成16年度	7月	第28回三重県消防救助技術指導会に出場する。

	8月	第33回東海地区救助指導会に出場する。 （ロープブリッジ渡過の部で1名入賞、ロープ登はんの部で1名入賞を果たし、全国大会へ） 第33回全国消防救助技術大会（神戸）に出場する。 （ロープブリッジ渡過の部で1名、ロープ登はんの部で1名入賞）
平成17年度	8月	第34回東海地区救助指導会に出場する。 （ロープブリッジ渡過の部で2名入賞、ロープ登はんの部で1名入賞を果たし、全国大会へ） 第34回全国消防救助技術大会（さいたま）に出場する。 （ロープブリッジ渡過の部で2名、ロープ登はんの部で1名入賞）
平成18年度	8月	第35回東海地区救助指導会に3種目出場する。 （はしご登はんの部で1名入賞を果たし、全国大会へ） 第35回全国消防救助技術大会（札幌）に出場する。 （はしご登はんの部で1名入賞）
平成19年度	7月	第36回東海地区救助指導会に2種目出場する。
平成20年度	8月	第37回東海地区救助指導会に2種目出場する。
平成21年度	7月	第38回東海地区救助指導会に2種目出場する。 （ロープブリッジ渡過の部で1名入賞を果たし、全国大会へ）
	8月	第38回全国消防救助技術大会（横浜）に出場する。 （ロープブリッジ渡過の部で1名入賞）
平成22年度	8月	第39回東海地区救助指導会に2種目出場する。
平成24年度	7月	第41回東海地区救助指導会に2種目出場する。
平成25年度	7月	第42回東海地区救助指導会に2種目出場する。 （ロープブリッジ渡過の部で1名入賞を果たし、全国大会へ）
	8月	第42回全国消防救助技術大会（広島）に出場する。 （ロープブリッジ渡過の部で1名入賞）
平成26年度	7月	第43回東海地区救助指導会に3種目出場する。
平成27年度	7月	第44回東海地区救助指導会に2種目出場する。
平成28年度	7月	第45回東海地区救助指導会に1種目出場する。
平成29年度	7月	第46回東海地区救助指導会に1種目出場する。
平成30年度	7月	第47回東海地区救助指導会に1種目出場する。
令和元年度	7月	第48回東海地区救助指導会に1種目出場する。
令和2年度	5月	東海地区救助指導会は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止。

【消防職員意見発表会の部】

年 度	月	記 録 内 容
平成 9 年度	4 月	全国消防長会東海支部消防職員意見発表会（恵那）に出場し、優秀賞を受賞する。
平成 1 7 年度	4 月	全国消防長会東海支部消防職員意見発表会（名張）に出場し、最優秀賞を受賞する。（全国大会へ）
	5 月	第 2 8 回全国消防職員意見発表会（熊本） に出場し、入賞する。
平成 3 1 年度	4 月	全国消防長会東海支部消防職員意見発表会（西尾市）に出場し、優秀賞を受賞する。

消防現勢

消防の管轄

当組合は、大台町・大紀町・南伊勢町（旧南島町地区）の3町を管轄しています。



(令和3年4月1日現在)

区 分	面積 (km ²)	世帯数	人口 (人)
大 台 町	362.86	4,132	8,893
大 紀 町	233.32	3,939	8,035
南伊勢町 (旧南島町地区)	133.04	2,495	4,934
合 計	729.22	10,566	21,862

消防の組織

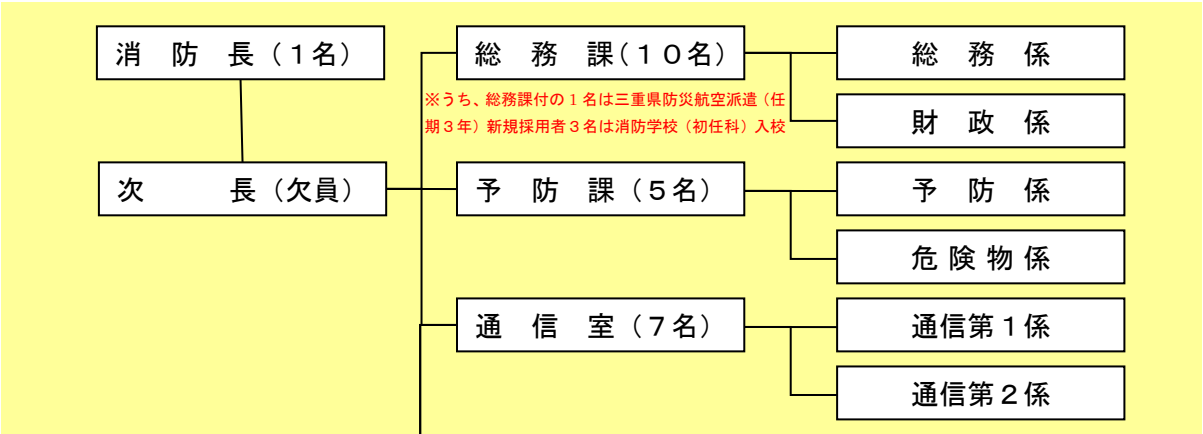
消防事務（消防団、消防水利事務を除く。）を行う行政機関です。1本部1署2分署1出張所で業務を行っています。

【消防組合】

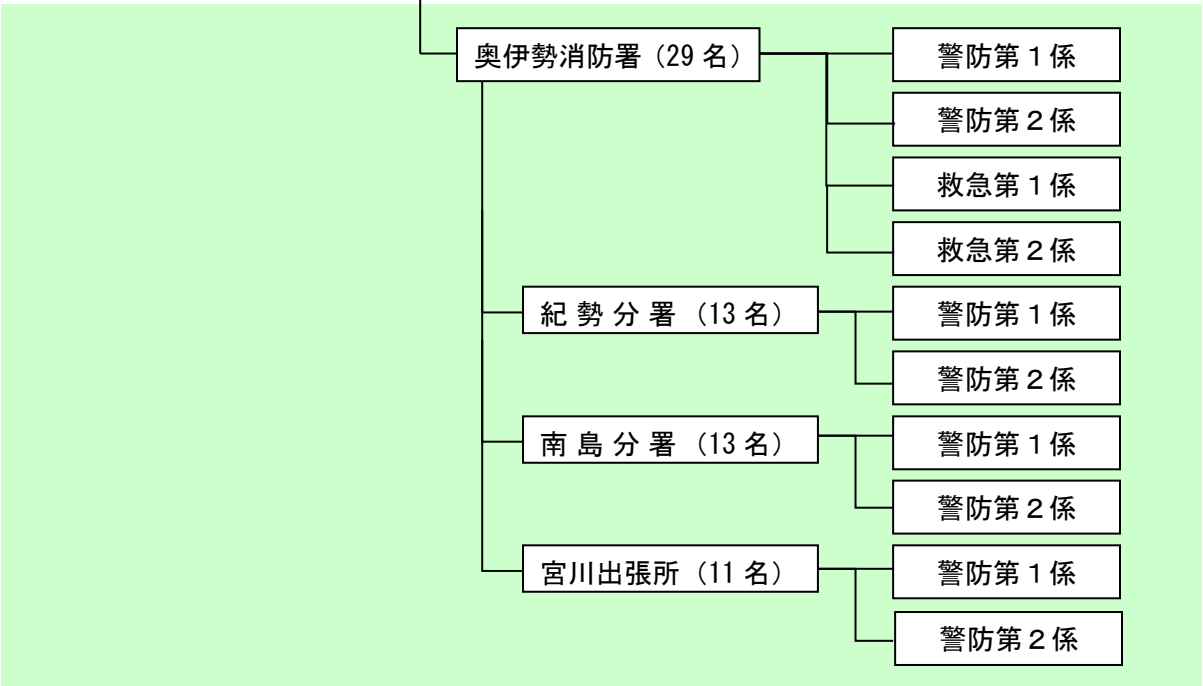
(令和3年4月1日現在)



【消防本部：23名】



【消防署：66名】



【合計：89名】

消防庁舎

1 本部 1 署 2 分署 1 出張所で消防業務を行っています。

○消防本部及び奥伊勢消防署

	所在地	多気郡大台町佐原 7 5 4 番地
	構造	鉄骨造
	階数	地上 2 階
	延面積	1 6 6 7. 5 0 m ²
	完成年月日	平成 9 年 2 月 2 1 日 (平成 2 7 年 1 1 月庁舎改修工事完了)
	管轄区域	大台町、大紀町 (滝原・阿曾・七保地区)

○紀勢分署

	所在地	度会郡大紀町崎 1 8 7 1 番地
	構造	鉄骨造
	階数	地上 1 階
	延面積	4 5 9. 6 9 m ²
	完成年月日	平成 8 年 1 1 月 2 5 日
	管轄区域	大紀町 (崎・柏野・錦・大内山地区)

○南島分署

	所在地	度会郡南伊勢町村山 2 2 番地
	構造	鉄骨造
	階数	地上 2 階
	延面積	6 6 3. 9 m ²
	完成年月日	平成 2 7 年 3 月 2 5 日
	管轄区域	南伊勢町 (旧南島町地区)

○宮川出張所

	所在地	多気郡大台町小滝 3 7 0 番地
	構造	鉄骨造
	階数	地上 2 階・地下 1 階
	延面積	4 7 6. 6 1 m ²
	完成年月日	平成 8 年 1 1 月 1 8 日 (令和元年 9 月庁舎改修工事完了)
	管轄区域	大台町 (旧宮川村地区)

高機能消防指令システム

消防本部通信室にて、管内各町からの１１９番通報を２４時間体制で一括して受信し、瞬時に災害発生場所を特定し、出動車両の編成及び出動指令の送出を行います。

主 な 機 器	指令制御装置	自動出動指定装置	地図等検索装置
	データメンテナンス装置	地図等検索装置	長時間録音装置
	非常用指令設備	位置情報通知システム	システム監視装置
	車両運用表示盤	多目的情報表示盤	映像制御装置
	指令伝送装置	気象情報収集装置	音声合成装置
	無停電電源装置	直流電源装置	出動車両運用管理装置
	署所端末装置（署所に設置）	車両運用端末装置（各車両に設置）	
			
		署所端末装置（署所に設置）	

消防救急デジタル無線

消防救急デジタル無線の整備により、秘匿性を高め個人情報の保護、目的に応じた通信手段の選択、無線通信エリアの拡大、雑音の無いクリアな通話等が可能となり、各種災害に対し効果的な現場活動を実現します。

基 地 局		移動局	消防本部	奥伊勢署	紀勢分署	南島分署	宮川出張所
浅間中継所	1	車載型	1	9	4	3	3
始神高中継所	1	携帯型		4	3	3	2
神前浦中継所	1	可搬型		1			1
		卓上型		1	1	1	

神
前
浦
中
継
所



消防車両等

○消防本部 (配備車両 2台)

広報車		連絡車	
登録番号		登録番号	
三重 830 さ 1-62		三重 301 た 19-33	
導入年月		導入年月	
平成 28 年 2 月		平成 21 年 9 月	
メーカー		メーカー	
三菱		トヨタ	

○奥伊勢消防署 (配備車両 10台)

水槽付き消防ポンプ自動車		消防ポンプ自動車	
登録番号		登録番号	
三重 830 た 1-01		三重 830 す 1-02	
導入年月		導入年月	
令和 2 年 11 月		平成 30 年 1 月	
メーカー		メーカー	
日野		日野	
救助工作車		資機材搬送車	
登録番号		登録番号	
三重 831 ら 1-19		三重 800 す 85-23	
導入年月		導入年月	
平成 21 年 2 月		平成 24 年 11 月	
メーカー		メーカー	
日野		トヨタ	
広報車		連絡車	
登録番号		登録番号	
三重 831 ふ 1-19		三重 502 り 66-79	
導入年月		導入年月	
平成 18 年 3 月		平成 30 年 10 月	
メーカー		メーカー	
トヨタ		ダイハツ	
高規格救急自動車		高規格救急自動車	
登録番号		登録番号	
三重 832 す 1-19		三重 832 ひ 1-19	
導入年月		導入年月	
平成 21 年 12 月		平成 24 年 11 月	
メーカー		メーカー	
トヨタ		トヨタ	
後方支援車		ボートトレーラー	
登録番号		登録番号	
三重 800 す 84-69		三重 800 る 9-23	
導入年月		導入年月	
平成 24 年 10 月		平成 25 年 8 月	
メーカー		メーカー	
マツダ		SOREX	

○紀勢分署（配備車両 4 台）

水槽付き消防ポンプ自動車		消防ポンプ自動車	
登録番号		登録番号	
三重 88 ゆ 20-46		三重 830 そ 2-02	
導入年月		導入年月	
平成 8 年 11 月		平成 30 年 11 月	
メーカー		メーカー	
いすゞ		日野	
広報車		高規格救急自動車	
登録番号		登録番号	
三重 88 す 36-41		三重 831 ろ 1-19	
導入年月		導入年月	
平成 8 年 11 月		平成 21 年 2 月	
メーカー		メーカー	
ホンダ		トヨタ	

○南島分署（配備車両 3 台）

消防ポンプ自動車		広報車	
登録番号		登録番号	
三重 830 そ 3-02		伊勢志摩 810 さ 3-61	
導入年月		導入年月	
令和元年 9 月		令和 2 年 12 月	
メーカー		メーカー	
日野		トヨタ	
高規格救急自動車			
登録番号			
三重 830 そ 3-11			
導入年月			
平成 29 年 1 月			
メーカー			
トヨタ			

○宮川出張所（配備車両 3 台）

消防ポンプ自動車		資機材搬送車	
登録番号		登録番号	
三重 88 ま 2-88		三重 80 あ 18-14	
導入年月		導入年月	
平成 8 年 11 月		平成 9 年 3 月	
メーカー		メーカー	
いすゞ		ホンダ	
高規格救急自動車			
登録番号			
三重 832 て 1-19			
導入年月			
平成 22 年 10 月			
メーカー			
トヨタ			

消防の予算（令和３年度当初予算）

住民の税金等大切なお金を町の分担金として頂き、火災、救急及び大規模災害などの有事に備えて、住民が安心して暮らせるように有効に活用しています。

【歳入】

区 分	予算額（千円）	構成比率（％）	備 考
1 分担金及び負担金	789,034	94.42	構成町分担金
2 使用料及び手数料	20	0.01	危険物関係手数料
3 財産収入	268	0.03	自動販売機設置使用料
4 繰入金	30,000	3.59	財政調整基金繰入金
5 繰越金	2,000	0.24	前年度繰越金
6 諸収入	14,276	1.71	預金利子、団体保険事務手数料等、高速道路支弁金等
歳 入 合 計	835,598	100.00	

【歳出】

区 分	予算額（千円）	構成比率（％）	備 考
1 議会費	98	0.01	議会に係る費用
2 総務費	77,314	9.25	事務等に係る費用
3 消防費	757,086	90.61	隊員、資器材等に係る費用
4 諸支出金	100	0.01	財政調整基金積立
5 予備費	1,000	0.12	予備
歳 出 合 計	835,598	100.00	

消防組合に対する住民１人当たりの必要額 約 36,092 円（分担金÷管内人口）

※構成比率（％）に関しては、端数処理の関係上、表中の計算が合わないことがあります。

消防統計

令和2年中の主な行事

消防は、火災や救急などの緊急出動以外に、次のような行事、訓練を行っています。

実施月	主 な 行 事 等
1 月	消防団出初式、地水利調査、立入検査、消防訓練、
2 月	消防訓練、地水利調査、立入検査、救急法、
3 月	消防訓練、春季火災予防運動防火広報パレード、 救急隊員想定訓練、警防隊員基本総合訓練、
4 月	救助用ゴムボート訓練、救助ロープ訓練、 ドクヘリ勉強会
5 月	救助用ゴムボート訓練、山岳救助訓練、立入検査、 地水利調査、救助ロープ訓練、ドクヘリ勉強会、 救命索発射銃訓練、
6 月	救助用ゴムボート訓練、立入検査、地水利調査、 各署所警防合同訓練、登山道踏査、救助ロープ訓練、
7 月	七夕飾り防火広報、立入検査、救助ロープ訓練、 地水利調査、野営訓練、救助用ゴムボート訓練、 救急法、
8 月	消防訓練、地水利調査、救助用ゴムボート訓練、 救急法、大杉谷登山道踏査、立入検査、
9 月	普通救命講習、救急法、水難想定訓練、立入検査、 ドクヘリ勉強会、
10 月	立入検査、緊急消防援助隊受援訓練、地水利調査、 警防技術交換会、林野火災想定訓練、
11 月	秋季火災予防運動防火広報パレード、登山道踏査、 防災ヘリ隊員投入合同訓練、
12 月	立入検査、救助オープンカレッジ、指揮支援訓練、 多数傷病者事故対応訓練、

【林野火災想定訓練】



【救急隊員想定訓練】



【野営訓練】



職員の研修（令和２年度）

住民の方々が、より安全、安心に暮らせるように職員の知識と技術を向上させることを、目的としています。

【三重県消防学校】

区 分	初 任 科	警 防 科	予 防 査 察 科	火 災 調 査 科	危 険 物 科	特 殊 災 害 科	救 助 科	救 急 科	初 級 幹 部 科	中 級 幹 部 科	上 級 幹 部 科	特 別 科			
												指 揮 課 程	指 導 救 命 士 課 程	気 管 挿 管 追 加 講 習	救 急 救 命 士 処 置 講 習
人 数	5	0	0	0	0	1	0	5	0	2	0	0	0	1	0
累 積	100	32	15	21	6	8	38	100	44	23	6	14	4	6	20

【消防大学校】

区 分	総 合 教 育		専 科 教 育				
	幹 部 科	上級幹部科	警 防 科	救 助 科	救 急 科	予 防 科	火災調査科
人 数	0	0	0	0	0	0	0
累 積	3	0	3	1	0	0	0

【救命士養成研修所】

区 分	東 京	九 州	名 古 屋	合 計
人 数	0	0	0	0
累 積	22	2	4	28

【その他の研修】

研 修 等 の 名 等	研 修 等 の 名 称
松阪 MC 救急事後検証会	リーダー研修【課長補佐級】（ハラスメント）
松阪保健所との意見交換会（新型コロナウイルス感染症対策について）	リーダー研修（リスクマネジメント）
令和２年度 航空支援制度研修	安全運転管理者講習会
令和２年度 救助科フォローアップ研修会	メンタルヘルス研修
令和２年度 三重県通信指令員救急教育	訴訟対応研修
行政不服審査制度にかかる研修会	令和２年度消防長研修会
三重地方行政研修（入門編）	第２８回救助オープンカレッジ
第７回 P C E C コース	第４回三重 P E M E C コース
令和２年度 気管挿管フォローアップ研修	救急安心センター事業（＃7199）に関する勉強会
人事評価者研修	令和２年度第１回三重県救急救命指導者セミナー
不当要求対策研修	第２１８回三重県消防長会議及び消防長研修会
令和２年度第２回松阪地域災害医療対策協議会及び研修会	令和２年度三重県消防長会 J P T E C プロバイダー更新コース
契約事務基礎研修	伐木等の業務にかかる特別教育講習会
第６回 J P T E C 松阪 MC プロバイダーコース	フルハーネス型安全帯使用作業特別教育
リーダー研修【課長級】（コンプライアンス）	法制執務研修

火災の統計

○火災 12件

[令和2年1月1日～令和2年12月31日]

町村別 種別	大台町	大紀町	南伊勢町 (旧南島町地区)	合 計
建 物 火 災	3	2	1	6
林 野 火 災				0
車 両 火 災	1	1		2
船 舶 火 災				0
そ の 他 火 災	2	2		4
合 計	6	5	1	12
死 者		1		1
負 傷 者	4	1		5
損害額(千円)	57,307	7,505	608	65,420

火災1件あたりの平均損害額： 5,452千円

【月別】

月 別 種 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
建 物 火 災	1		1	1	1			1			1		6
林 野 火 災													0
車 両 火 災										1		1	2
船 舶 火 災													0
その他火災	2		1	1									4
合 計	3	0	2	2	1	0	0	1	0	1	1	1	12

【時間別】

時間帯別 種 別	0～3	3～6	6～9	9～12	12～15	15～18	18～21	21～24	不 明	合 計
建 物 火 災	2			1		1	1	1		6
林 野 火 災										0
車 両 火 災		1			1					2
船 舶 火 災										0
その他火災				2	2					4
合 計	2	1	0	3	3	1	1	1	0	12

救急・救助の統計

○救急 1,630件

[令和2年1月1日～令和2年12月31日]

種 別 \ 町 別	大 台 町	大 紀 町	南伊勢町 (旧南島町地区)	管轄区域外	合 計
急 病	430	383	254	1	1,068
一般負傷	105	96	62	1	264
交 通	26	25	12		63
そ の 他	125	39	71		235
合 計	686	543	399	2	1,630

1日あたりの平均救急件数 4.5件

【月別】

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
165	118	140	102	144	100	132	170	127	133	153	146	1,630

【曜日別】

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合 計
225	274	237	240	221	222	211	1,630

【時間帯別】

0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合 計
61	48	62	110	206	210	194	199	184	159	115	82	1,630

【現場到着所要時間別】 覚知～現場到着

～3分	3～5分	5～10分	10～20分	20分～	合 計
47	29	417	868	269	1,630

○救助 21件

[令和2年1月1日～令和2年12月31日]

種 別 \ 町 別	大 台 町	大 紀 町	南伊勢町 (旧南島町地区)	管轄区域外	合 計
交 通	3	2	2		7
水 難			3		3
そ の 他 (山岳、急病、一般負傷等)	5	1	5		11
合 計	8	3	10	0	21

防火対象物

防火対象物とは、防火上安全を確保するため、消防法等で規制がされている建物等を指します。

○防火対象物数 945件

[令和3年4月1日現在]

消防法施行令別表第 1（用途）			町 別			合 計
項 別		業 態	大 台 町	大 紀 町	南伊勢町 (旧南島町地区)	
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場				0
	ロ	公会堂、集会場	2 7	1 9	2 1	6 7
(2)	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等		1		1
	ロ	遊技場、ダンスホール	1			1
	ハ	風俗業等を営む店舗				0
	ニ	カラオケボックス等				0
(3)	イ	待合、料理店等				0
	ロ	飲食店	4	4	1	9
(4)		百貨店、マーケット等	1 4	1 3	8	3 5
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	7	8	4	1 9
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	3 1	1 2	7	5 0
(6)	イ	病院、診療所、助産所	6	4	2	1 2
	ロ	老人短期入所施設等	1 0	1 4	3	2 7
	ハ	老人デイサービスセンター等	6	1 1	7	2 4
	ニ	幼稚園、盲学校、聾学校、養護学校				0
(7)		小学校、中学校、高等学校等	1 9	1 1	8	3 8
(8)		図書館、博物館、美術館等	1	1	1	3
(9)	イ	公衆蒸気浴場、公衆熱気浴場等		1		1
	ロ	上記に掲げる以外の公衆浴場				0
(10)		車両の停車場等				0
(11)		神社、寺院、教会等	1 5	2 0	1 1	4 6
(12)	イ	工場、作業所	1 0 4	7 2	3 3	2 0 9
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ				0
(13)	イ	自動車車庫、駐車場	4	1		5
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫				0
(14)		倉庫	3 4	2 5	3 1	9 0
(15)		前各項に該当しない事業所	7 6	8 2	3 4	1 9 2
(16)	イ	特定用途を含む複合防火対象物	3 4	3 0	2 2	8 6
	ロ	上記以外の複合防火対象物	1 1	1 0	9	3 0
合 計			4 0 4	3 3 9	2 0 2	9 4 5

危険物施設

危険物とは、火災や爆発などを起こしやすく、損害を与えるおそれのある物品です。消防法で定める一般的なもので、ガソリン、灯油及び重油などがあります。危険物施設は、それらを製造、貯蔵及び取り扱う所を指します。

○危険物施設数 128件

[令和3年4月1日現在]

危険物施設別		施設数
製造所		0
貯蔵所	屋内	5
	屋外タンク	31
	屋内タンク	1
	地下タンク	13
	簡易タンク	0
	移動タンク	12
	屋外	4
取扱所	給油	39
	販売	0
	移送	0
	一般	23
合 計		128

届出書類等の受理

消防本部及び消防署では消防関係法令に基づき提出された届出書等の受付、審査、許可、認可等の処理を行っています。

○消防本部予防課へ提出を要する届出書等

[令和2年4月1日～令和3年3月31日]

届出書等の名称		受理件数
消防用設備等	建築物確認申請書(消防同意事務)	6
	消防用設備等設置(工事)計画書	5
	工事整備対象設備等着工届出書	25
	消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届出書	29
	防火対象物使用開始届出書	9
防火管理	防火対象物点検結果報告書	10
	消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告書	188
	防火管理者選任(解任)届出書	49
	消防計画作成(変更)届出書	53
	消防訓練通知書	57
危険物施設	危険物施設設置許可申請書	2
	危険物施設変更許可申請書	3
	危険物施設完成検査前検査申請書	0
	危険物施設完成検査申請書	5
	危険物施設仮使用承認申請書	2
	危険物施設仮貯蔵・取扱い申請書	2
	危険物施設休止・再開届出書	1
	品名・数量又は倍数変更届出書	0
	危険物譲渡引渡し届出書	1
	危険物施設変更届出書	26
	危険物施設設置(変更)取り下げ届出書	0
	危険物施設廃止届出書	2
	危険物保安監督者選任・解任届出書	2
	予防規程制定・変更認可申請書	9

○消防署へ提出を要する届出書等

[令和2年4月1日～令和3年3月31日]

届出書等の名称		受 理 件 数				
		奥伊勢 消防署	紀 分 勢 署	南 島 分 署	宮 川 出張所	合 計
火 を 使 用 す る 設 備 等	圧縮アセチレン等の貯蔵又は取扱いの開始(廃止)届出書	4	2			6
	燃料電池発電設備・発電設備・変電設備・蓄電池設備設置届出書	14	9		2	25
	炉・ボイラー等(火を使用する設備)設置届出書	2	2		2	6
	少量危険物貯蔵設置・指定可燃物取扱い変更届出書	7	5	1	1	14
	少量危険物貯蔵・指定可燃物取扱い廃止届出書	3	2			5
行 為 等	水道断水・減水届出書	1		2		3
	道路工事届出書	67	10	24	12	113
	催物開催届出書					0
	煙火打ち上げ・仕掛け届出書	1				1
	火災とまぎらわしい煙等届出書	3		2		5
	露店等の開設届出書	2				2

令和 3 年 6 月 発行

消 防 年 報
令和 2 年版（第 2 3 号）

編集発行 紀勢地区広域消防組合消防本部
